

「移住と摩擦～日本とヨーロッパにおける政治的・文化的境界の検証」

イタリア・ナポリ海外研修プログラム

【テーマと目標】

EU 圏、特に地中海地域における人々の移動は、近年のアフリカ、アラブ諸国の状況を踏まえ、政治、社会、文化に大きな影響を与え続けている。ギリシャ、ローマ時代を経て、ヨーロッパ文明の中で重要な役割を果たしてきた港湾都市、ナポリにおいて、ヨーロッパ文化・地中海文化の根源を見つめ、さらに MENA (MIDDLE EAST AND NORTH AFRICA) 地域、アジアの文化境界とそのアイデンティティを考えるためのフィールドワーク、合同ゼミ等を行う。

【期待される効果・学習目標】

ヨーロッパの根幹となるギリシャに端を発するナポリを中心としたイタリアの歴史、文化と、そのあとのヨーロッパ諸国に与えた文化のルーツを学習する。移民・難民の押し寄せる、地中海沿岸の地域や現状を知り、ヨーロッパ諸国における移動移民の問題について、現地の学生、教員との交流も行うことで、最新の動向や人々の活動について知り、グローバルイシューへの各人の取り組みを促進する。

【日程】

2017年9月中旬から下旬（うち9月20-21日はプローチダ島における国際ワークショップ参加）。

渡航計画は以下の日程の前後に、各自の研究計画を加えて決定する。事前学習時にナポリ滞在前後の研修計画の可能性などについてもアドヴァイスする。

コア研修期間の8日間は全員がナポリ（プローチダ島を含む）に滞在すること。事前に講義と演習、帰国後には報告書の執筆を行なう。成果報告会も予定している。

【担当（企画・指導・引率）教員】

林良子（国際文化学研究所） rhayashi@kobe-u.ac.jp（研究室：B309）

小笠原博毅（同上） hiroki@kobe-u.ac.jp（研究室：E316）

坂井一成（同上） kazu@harbor-u.ac.jp（研究室：E407）

【募集人数】

10～15名程度

【経費関係】

基準を満たした場合には選考により JASSO からの奨学金が支給されます（一律 8 万円）＋自己負担。長期留学前に参加することも可能です。ただし、留学期間が重ならないこと、2017 年度前期に在学し、参加決定後履修届を出すことなどが条件となります。

【研修先での使用言語】

英語・イタリア語（渡航前に最低限のイタリア語会話ができるよう、留学生による会話指導を予定）

【準備と流れ--(1)については学生自身で行う】

(1) 生活面

- 航空券の手配、宿の手配
- 留学生危機管理サービス（OSSMA）説明会参加、登録、海外旅行保険加入

(2) 学習面

- 事前講義への参加、課題、研究発表の準備
- 参加学生は、ナポリ東洋大学との合同ゼミ（発表は英語またはイタリア語、質疑は適宜日本語）、プローチダ島ワークショップ学生セッション（発表は英語）のいずれかで研究発表を行います。
- 帰国後に報告書を提出

【プログラム】〔予定、今後若干の変更がありえます〕

- ・ナポリの歴史と現在に関する講義、市街地フィールドワーク（担当：小笠原先生、ナポリ東洋大学ブファ先生）
 - ・ナポリ東洋大学日本学専攻学生との学生交流会（担当：林先生、ナポリ東洋大学ランナ先生、デマイオ先生）
 - ・プローチダ島国際ワークショップ（担当：坂井先生）
- ナポリ東洋大学から 6～7 名の教員および学生、神戸大学国際人間科学部からも数名の教員が参加し、いくつかのセッションに分かれて研究会・勉強会を行う。学生セッションも設ける。現在、国際政治、地中海文化、メディア論、アフリカ学、日本学等の教員の参加が予定されている。
- ・ナポリフェデリコ 2 世大学人文学部による、考古学セミナー、ポンペイ遺跡、ソンマ遺跡発掘現場見学（担当：林先生）
 - ・帰国後、事後報告書執筆

【今後の予定】

（募集） 平成 29 年 5 月 9 日（個別説明会）、5 月 22 日（月）締め切り

（選考） 5 月末 面接を予定、参加者決定

6 月上旬～ 事前講義・イタリア語学習開始

9 月末 報告書提出

【単位について】

国際文化学部・国際文化学研究科の学生へ

本海外研修は、国際文化学部・国際文化学研究科の授業の一貫として行います。国際文化学部・国際文化学研究科の海外研修の修了者には1単位が付与されます。研修参加決定者の履修登録は、鶴甲第一キャンパス事務課教務学生係（国際文化学研究科教務学生係）にて行います。

なお、本海外研修の履修はCAPに含まれません。

国際人間科学部1年生へ

フィールドワーク実習として本海外研修への参加は可能ですが、実践型GSコースは2年次より対象となるため、GSPの単位とすることはできません。

単位認定申請を希望する学生は、学生便覧の「神戸大学国際人間科学部フィールドワーク実習に関する内規」を参照のうえ、海外研修終了後1ヶ月以内を目処に、必要書類を鶴甲第一キャンパス事務課教務学生係へ提出してください。

なお、本海外研修の履修はCAPに含まれません。

【奨学金について】

成績等、以下支給対象者の条件を満たす場合、JASSO 海外留学奨学金（8万円）が支給されます。（別途申請要。希望者多数の場合、書類選考があります。）

奨学金支給対象者：

- ・日本国籍を有する者又は日本へ永住が許可されている者
- ・経済的理由により、自費のみでの派遣プログラムへの参加が困難な者
- ・前年度の成績が JASSO の定める成績評価係数 3.00 満点のうち 2.30 以上である者（※下記別表参照）
- ・経済的理由により、自費のみでの派遣プログラムへの参加が困難な者

※JASSO 成績評価係数の算出方法について

JASSO 成績評価係数は神戸大学 GPA の算出方法とは異なります。以下表により「成績評価ポイント」に換算し、計算式にあてはめて算出してください。

成績評価基準					
神戸大学成績評価	秀	優	良	可	不可
JASSO 成績評価ポイント (P)	3	3	2	1	0

計算式

$$\frac{(\text{「評価 P3 の単位数」} \times 3) + (\text{「評価 P2 の単位数」} \times 2) + (\text{「評価 P1 の単位数」} \times 1) + (\text{「評価 P0 の単位数」} \times 0)}{\text{総登録単位数}}$$

【応募方法】

「参加申込書」をホームページからダウンロードし、「申込要領」を熟読の上、電子ファイルと紙媒体の両方で提出してください。